

## 緑丘中だより

北九州市立緑丘中学校 校長 井上 要  
ホームページ midorigaoka-j@kita9.ed.jp



### 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

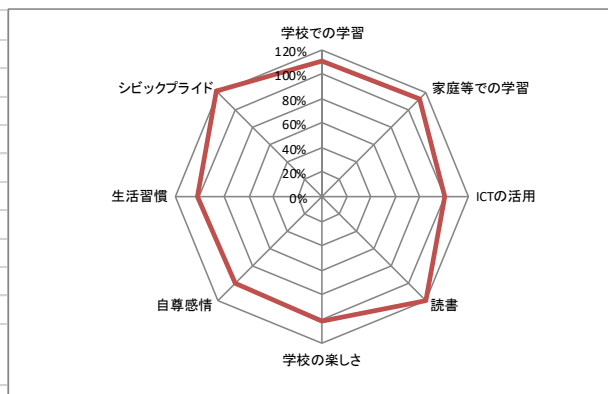
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析（傾向や特徴）   | 全国平均正答率との比較 |
|-------|--|-------------|
| 国語    | 全国と比べて、我が国の言語文化に関する知識及び技能は高い。<br>言葉の特徴や使い方に関することが苦手な傾向にある。   | 同程度である      |
| 数学    | 全国と比べて、どの領域についても正答率が低い。問題解決の過程や結果を振り返って考え、説明する問題や複数のデータを比較して捉え、数学的な表現を用いて説明する問題に無回答が多く、これらに苦手意識をもつ生徒が多い傾向がある。  | 下回っている      |
| 英語    | 全国と比べて、どの領域も正答率はやや低い。領域としては、話すこと[やり取り・発表]が最も低く、書くことも低い。読んだことについて、考えとその理由を書く問題の無回答が多く、考えを文章化することが苦手な生徒が多い傾向にある。 | 下回っている      |

#### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



##### 質問紙調査の結果分析

- ・ほとんどの質問項目において、全国平均よりも高い回答であった。特に「読書活動」「シビックプライド(地域への誇りと愛着)」の項目は全国平均を大きく上回っていた。これは、3年間で計画的に「読書活動」とSDGsの視点で総合的な学習の時間を実施したためだと考えられる。
- ・各教科で考えをまとめたり、意見共有をしたりする場面で、タブレットを活用することで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。
- ・土日の家庭学習の時間が少ない。

#### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

##### ① 教科に関する取組

- ・各教科で、「めあて→個人思考→集団思考→まとめ・振り返り」をスタンダードとし、授業改善を継続する。
- ・「わかったつもり」を「わかった」に変えていくために、反復練習や主体的で協働的な学びを中心にICT機器を有効的に活用し、授業を実践する。

##### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して1時間以上の割合が低いため、自主学習ノートやタブレット等を活用した探究課題の設定により、家庭学習の推進を行う。
- ・学校の取組を定期的な学校だよりの発行やホームページ等で保護者や地域へ発信する。